

団体名： 西尾みなみ商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考
				目標①		目標②		得られた効果	ABCD評価				今後の展開・改善点等		
				指標	実績	指標	実績		総合評価	事業実施評価	調査結果	満足度			
巡回・窓口相談指導事業	経営基盤の弱い小規模事業者を中心に、経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問し、融資等の金融相談・申告時期の税務相談・労務相談等の経営全般に係る様々な相談への指導をすることにより、経営及び技術の改善を図り、健全な企業を育成する。このほか、創業予定者を始めとした経営全般に係る相談窓口の設置によって、経営改善に資する指導を行う。	巡回指導 延件数 746件 非会員 15件 実件数 266件 窓口指導 延件数 524件 非会員 9件 実件数 179件 非会員 4件 創業指導指導 実企業 5件 延件数 7件 課題解決提案件数 30件 経営革新認定件数 4件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 101.3 %)	指標 課題解決提案件数 (達成度 100.0 %)	巡回指導や窓口指導だけでなく、積極的に接触することで現状分析、課題や問題点を明確にし、解決への糸口を見つけ出し、小規模事業者の経営改善を図ることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	調査結果 自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 B 必要性 A	補足 指導員も解消され、ほぼ計画通りの指導が行えた。	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	伴走型経営支援をベースに巡回指導を中心に実施していきたい。一方で窓口指導の要望も年々高くなってきていると感じを受けているので、今まで以上に職員間の連絡を密にし、いつでも対応できる体制を維持していきたい。	○	
記帳継続指導	商工会職員が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告・消費税確定申告書の指導を行い、適正な税務申告と経理の自動化や計数管理による経営力の向上に結び付ける。	・記帳指導事業者数 87件 ・指導延日数 360日 ・指導延回数 914回	小規模事業者	指標 記帳指導事業者数 (達成度 114.5 %)	指標 (達成度 %)	小規模事業者にとって大きな負担でもある記帳や税務に関する事務を商工会がサポートすることによって、後継者育成・経営分析等の手法を得ることができると本来の経営に力を入れることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	調査結果 自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 満足度 B 必要性 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	年々経理税務に関する要望は強くなってきているが、経営分析指導を重点的に実施していきたい。	○	
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって経営に必要な金融・税務・経理・労働・情報化等の知識を習得させるほか、時事的な問題を周知させ、事業者の資力の向上と円滑な事業運営を図る。	・集団指導（4回） 受講者数 143名 ・個別指導（16回） 受講者数 244名 ・経営革新計画支援セミナー（1回） 受講者数 3名	小規模事業者	指標 講習会参加小規模事業者数 (達成度 81.3 %)	指標 (達成度 %)	経済問題や専門分野、業種別の問題などテーマを絞り開催し、その事柄に問題意識のある事業者をまとまった単位で指導でき、効率的な事業展開を目指すことができた。	総合評価 B	事業実施評価 B	調査結果 自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 満足度 B 必要性 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	会計ソフトの充実で、記帳・申告講習会への参加者は減少気味だが、経理基礎の重要性を伝え、参加者を増やしていきたい。集団講習会の充実にはよりタイムリーなテーマの提供と周知方法を再考する必要がある。	○	
若手後継者等育成事業	商工業の後継者である青年、若手経営者及び商工業に携わる女性に対し、経営に必要な知識の修得や資力の向上を図るための講習会・研修会を開催し、小規模事業者の振興・発展を図る。	・青年部 部員 81名 講演講習会・役員会・地域振興事業等 49回/年 若手後継者セミナー 1回 ・女性部 部員 48名 講演講習会・役員会・地域振興事業等 15回/年	青年部・女性部 各一部員	指標 講習会・地域振興事業等参加回数 (達成度 104.9 %)	指標 (達成度 %)	地域の若手後継者等とのふれあいを通じて、経営者としての刺激を得ることができ、各種講習会を通じて若手後継者としての資力の向上を図ることができ、自身の事業所の振興・発展を図ることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	調査結果 自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 B 必要性 A	補足 青年部に 関しては、 地域振興 事業に力 を入れた。	目標 現状維持 実施方法 変更する	地域の活性化には若手経営者や女性の力が不可欠である。スムーズな事業承継を指導すると共に、今後も資力の向上や組織強化指導を行い、充実した青年部・女性部事業を推進していく。	○	
祭典事業	各種のお祭り・祭典などを開催することにより、その集客力を活かして地域の産業（地域資源、観光資源）のPRを行い、地域の総合的な振興を図る。	参加事業所数 98件 6月に吉まつり 7月はずストーンカップ 47件 8月吉良盆踊りの集い 26件 11月きらまつり 240件	地域内 商工業者	指標 祭典事業参加事業所数 (達成度 114.2 %)	指標 (達成度 %)	イベントを通じて地域の活性化を図ることができたと同時に、地域住民の一体感を生み、観光資源のPRができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	調査結果 自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 A 必要性 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	地域をPR・活性化するにはこの事業は不可欠だが、さらに地域住民が主体となって進めるべきと考える。	○	
地域懇談会事業	これからの地域経済の振興について地域懇談会を開催し、地域の実態把握とともに、地域経済振興に向けた対応を検討するなど、地域活性化に向けた各種事業に取り組み、地域振興と地域商工業の発展に寄与する。	・西尾市、西三河地域での様々な地域懇談会に参加 ・西三河地区商工会で開催する職種別会議等に参加 ・その他地域ごとの問題について協議する検討会（名浜道路推進会議等）に参加 ・市の地域振興事業へ参画【上記 出席回数60回】	市内・西三河 地域の商工団体等	指標 地域懇談会出席回数 (達成度 133.3 %)	指標 (達成度 %)	地域の課題などを協議する地域懇談会に積極的に参加し、情報交換を行い、広域での地域経済の発展に寄与することができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	調査結果 自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 A 必要性 B	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	行政との連携は不可欠。また行政への様々な働き掛けも単独でなく、広域かつ様々な経済団体が連携しているため、この事業のさらなる充実を図りたい。	○	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 西尾みなみ商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価															
				目標①			目標②			得られた効果	ABCD評価				今後の展開・改善点等	備考			
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値		総合評価	事業実施側の評価	調査結果	自己評価			満足度	補足	
商業活性化事業	消費者の生活形態の変化、郊外型大型店等への購買力流出など、地元中小業者が抱える様々な経営課題解決に向け、地域活性化、集客力向上につながるようキラット商品券発行事業やプレミアム商品券発行事業、さらには街路灯の維持管理を実施し、地元業者の活性化、街づくりに寄与する。	・キラット商品券発行事業 655,000円分発行 ・街路灯維持管理事業 街路灯 562本	地域内業者	指標	キラット商品券発行額 (円) (達成度 65.5%)	指標	街路灯維持管理本数 (達成度 98.3%)	街路灯事業により町の景観が整備され、キラット商品券発行事業によりわずかではあるが地元業者に還元できた。	総合評価	B	事業実施側の評価	B	調査結果	自己評価	B	満足度	補足	目標	街路灯は費用負担から年々減少傾向にある。しかしながらLED化が進んできているため、今後はさらなるLED化を推進し、費用抑制を考慮したい。
産業団体等指導事業	各種団体等、産業振興・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては商工業の活性化に資する。	・西尾労働基準協会吉良分会の事業支援（会員数89件） ・西尾労働基準協会幡豆分会の事業支援（会員数32件） ・吉良ガス協同組合の事業支援（会員数4件） ・吉良町商業協同組合の事業支援（組合員数48件） ・吉良平成会（48件） ・商工平成部（17件） ・吉良・幡豆まちづくり協議会の事業支援（22件）	左記団体の構成員	指標	左記団体構成員数 (達成度 104.8%)	指標	 (達成度 %)	各種業界団体、協同組合、地域貢献団体の事務等を支援することにより、同業種及び異業種間での意見交流が商工会を通して活発に行われ、地域社会の貢献や発展の一助となり、地域の活性化に繋げることができた。	総合評価	A	事業実施側の評価	A	調査結果	自己評価	A	満足度	補足	目標	廃業の増加が少なからず団体構成員数を減少させているため、地域の活性化は様々な団体の活動により行われるため、商工会が層の要となり各々の意見の集約をしていきたい。
産業活性化事業	吉良地区、幡豆地区の地域資源の活用や、特産品及び観光のPRなどを行い、企業の発展や地域産業の活性化に資する。	・吉良花火大会 2日 ・ハワイアンフェス 6日 ・すみだまつり 3日 ・いらっしやい亭での観光PR 1日 ・市内・西三河管内の観光事業関連会議への出席 12日	地区内商工業者	指標	観光PR回数 関連会議出席延べ日数 (達成度 126.3%)	指標	 (達成度 %)	吉良幡豆両地区の特産品や観光のPR活動を行うことで、吉良・幡豆に町外からの多くの観光客を呼び寄せることにより、地域産業のPRや活性化が図られた。	総合評価	A	事業実施側の評価	A	調査結果	自己評価	A	満足度	補足	目標	地域をPR・活性化するにはこの事業は不可欠であり、地域住民と一体となって進めるべきと考え、予算措置も考慮していかなければと考える。
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続を行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適正な徴収を図る。	・労働保険事務組合加入者の労働保険年度更新事務（委託事業者数127件） ・労働保険事務組合加入者の労働保険料納付事務	労働保険事務組合西尾みなみ商工会への委託事業所	指標	委託事業所数 (達成度 110.4%)	指標	 (達成度 %)	人的、時間的に制限の多い中小企業者の労働保険事務を委託し、代行することにより中小企業者の事務処理の負担を軽減するとともに、労働保険の適正な運用を図ることができた。	総合評価	A	事業実施側の評価	A	調査結果	自己評価	A	満足度	補足	目標	地元のハローワークや労働局、県の雇用安定センター等と連絡を密にし、情報を提供すると共に事務代行の質を上げ、委託事業所の拡大を今後も図りたい。
調査・広報事業	中小・小規模事業者関連の施策に反映するため、また、関連施策の利用を促すため、制度を中心とした広報を発行し、幅広い周知を図る。	・商工会報 年3回発行 ・その他、随時必要に応じて情報提供 3回	地区内商工業者	指標	商工会報等情報提供回数 (達成度 100.0%)	指標	 (達成度 %)	中小・小規模事業者関連の施策やそれに関連した制度を中心とした広報を発行し、幅広い周知を図ることができた。	総合評価	A	事業実施側の評価	B	調査結果	自己評価	B	満足度	補足	目標	商工会報をはじめ、行政からの施策等の情報提供は非常に重要であると考えるため、定期的の実施していきたい。
人材育成事業	各種検定事業や人材育成に関する事業を実施することにより、優秀で地域を担っていく人材を育成し、将来的な商工業の発展や地域の活性化を図る。	・商工会珠算検定 3回/年（受験者数38名） ・各種検定事業の紹介・斡旋 随時	地区内商工業者及び地域内住民	指標	珠算検定受験者数 (達成度 38.0%)	指標	 (達成度 %)	珠算検定を実施することにより、地域内に数字に強い人材を育て、将来的な商工業や地域の活性化を図る一助となった。	総合評価	B	事業実施側の評価	B	調査結果	自己評価	B	満足度	補足	目標	珠算を行う子供たちは、減少傾向にあるが、現状維持以上を目指して引き続き珠算検定事業に参加し、当初の目的を達成していく。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 西尾みなみ商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価																	
				目標①			目標②			得られた効果	ABCD評価					今後の展開・改善点等	備考				
				指標	実績数値	達成度	指標	実績数値	達成度		総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度			補足			
福利厚生事業	各種共済制度の普及により中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定を図り、企業の健全な育成に資する。	中小企業共済 513件 中小企業PL保険 15件 愛知火災共済 8件 小規模企業共済 179件 セーフティ共済 10件 特定退職金共済 14件 キュービクル給付 4件 中小企業退職金 7件 容器リサイクル 3件 健康診断事業の実施 271名	地区内商工業者及びその従業員	指標 各共済加入者社会計 (達成度 94.1%)	指標 健康診断受診者数 (達成度 108.4%)	800	実績数値	753	目標数値	250	実績数値	271	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	事業者に有利な共済をPRし、自己財源確保のためにも積極的に進める。また従業員は健康診断受診は最低限のものとなっているため、こういった小規模事業者の事務軽減を図る意味でも充実させていきたい。	○
税務関係団体指導事業	青色申告会・法人会等の税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展の一助となり、ひいては、商工業の活性化に資する。	・商工会と青申会の共催による記帳指導会の実施 3回 ・きはら青色申告会の事務支援員数 238名 ・西尾法人会福豆支部の事務支援員数 99名 ・西尾法人会吉良支部の事務支援員数 211名 ・きはら青色申告会・西尾法人会吉良支部・福豆支部の実施する講習会、研修会事業の支援	きはら青色申告会、西尾法人会吉良福豆支部会員	指標 青色申告会・法人会会員数 (達成度 97.3%)	指標 (達成度 %)	563	実績数値	548	目標数値		実績数値		総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	税務に関する法律等はここ数年毎年のように変わってきており、その情報の伝達は税務関係の各団体に依存することが多く、今後も税務団体の行う事業は継続する必要がある。	○
部会・委員会事業	商業・工業などの各部会や小規模企業振興委員会などの部会・委員会活動を行い、部会・委員会参加企業の発展に資する。	先進地日帰り研修 1回 合同日帰り研修会 1回 小規模企業振興委員会 1回 工業委員会 2回	各部会・委員会構成員	指標 各委員会等開催回数 (達成度 83.3%)	指標 (達成度 %)	6	実績数値	5	目標数値		実績数値		総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 B 必要性 B	満足度 B	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	会員ニーズにあった事業を行う上で委員会活動は欠かせないものであり、毎年、会員相互の交流の場として好評を得ている視察研修会とあわせて、今後も事業実施をしていきたい。	○
青年部・女性部事業	青年部・女性部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与する。	・青年部例会 1回（親睦交流事業）参加者 33名 ・女性部例会 2回（親睦交流事業）参加者 46名	青年部 女性部員	指標 青年部・女性部事業参加者延べ人数 (達成度 46.5%)	指標 (達成度 %)	170	実績数値	79	目標数値		実績数値		総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 C	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足 青年部が交流事業を地域振興事業にシフトしたため目標に届かなかった	目標 下げる 実施方法 現行どおり	スムーズで効果的な青年部女性部事業を行っていく上で、部の組織力強化は欠かせない。そのため親睦事業等の充実は今後も大いに必要と考える。	○

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。